

三十三日夕刊

なりつて各縣の連綿緊閉を見れば、京義線最も輻輳し、京釜線之に照し、湖南線は第三位、京元線最も少なし。じ廿九日調査主、炭各驛滯留表は左に如し。

湖南	三三〇〇	汝山	一五〇〇
新義州	四〇〇〇	仁川	一八〇〇
新安州	一七五〇	平澤	一〇〇〇
南浦	一六〇〇	德安	一〇〇〇
江界	六〇〇〇	江界	三三〇〇

ばげ 停滯も釘付の儘動かざるもの
必らずしも多からざるべし唯關釜
の鑄造方に制限ある爲め内地行き
物の輸送は若干束縛を受ける觀あ
る鮮鐵としては關釜山に於ける鑄
力の許す範圍に於て釜山に送貨す
に可なる譯なれど荷主側より見え
發地に於て永らく貨物を停滯さす

はるばる貨物運搬の便を計りて、山に臨み野城の保衛を主として、慶長元年九月、豊臣氏に願ひて、山崎の陣に於ては大至急に野城を保衛所を設置しつゝあるに付、出來次第に其他の兩三の對策を取

に遼南、高麗、占城並に朝鮮の臨時船
を以てするも到底其の運搬を全うし
能はず然るも之を鐵道に托せんと
すれば其の規定運賃額に比し高率
にて引合はれず鐵道局に對し局統
並に院線の運轉割引を希望し來りし
に付鐵道局にては船使の輸送不可能
のものを鐵道に托せんとする貨物に

仁川にして昨年に比し五名減なり
麥類
荷動活潑 内地に於ける麥類は輸出
に旺なるを以て相場騰貴したるに
仁川に於ては七八月頃の約定品昨今
を以て見下内地値に比し賣値二三

▲曹汝霖日本派遣 支那政府は日支の親善を圖る爲め、前外交長曹汝霖氏を日本に派遣する事に決し、曹氏は十二月初旬北京出發、渡日の途に上る豫定なりと傳へらる(北京電報)

獨逸軍はギュルギーを占領し羅國首都ブラレストを距る四十
迄殺到せり(紐育電報)

○佛提督の希帝謁見

佛提督は希帝を謁見し、

倫敦來電　米國貨物船エムダグ號(三〇六二噸)はスペイン沖にて獨逸
潛航艇の爲め撃沈せられたり同船は紐育よりネーブルスに向ひつゝあり
しものなり乗組員中十名の米國人あり皆救助せられたるも場合に依
りては面倒なる問題となるべし(紐育電報)

○大阪株式混亂

○農校長會同

●空前の株式取引

狼し成金にて元の木阿彌
となりし者を生ぜり(大阪特電)

校農業科教師を召集四日より七日まで農業學校校長會同を開催の事となり其の日程左の如し

四日午前臨時召集 午後同上
五日午前臨時召集 午後臨時召集
六日午前臨時召集 午後臨時召集

大阪金利益騰
大阪市勢月末の金利益は昂騰し月終に
一錢六厘を唱へたが、お出し手
運れて手形捌けた所、お出
農技官會同
（第四）
農技官會同第四回は三月二十四日午前
とし議場は宇佐美内務部長官之を整
理の筈なり

四厘普通一錢五厘見當に引締り日銀支店の貸出増加し越月後もまして低落せざるべし(大阪特電)

山縣政務廳は十二月一日午後三時より日下開催となる。各道農業技術者會、同出席者を總行官邸に招き茶会の饗應を爲す可く總督府よりも同會の歓迎を張る。

●松永長官春川行 松永東京出張中、昨(廿九)日、春川氏一行が、大隈謙出、田代幸吉等を喜久家に招待

小原農工商部は、官に十二月一日午後六時より、谷邑農藝技術官、勸業學校、並に同支部技師等を花月に招待の宴にて慰勞、場よりは農工商部員全部出席す可し

○**蠶繭製造修業式** 軋大門外金谷なる京畿道原蠶繭製造所にて

森武官歸任期 長谷川總督
四日東京發阪に赴き六日大阪發入
日京城歸露の事に決定せし旨同社に
入電ありしと

應急策は最善を執りつゝあり

鐵道局參事 安藤又三郎氏談

緊要の大問題 歐洲戰亂の一瞬の境界にとり緊急切要の大問題に

運轉當局は一刻の猶豫を許さざる

の各港は何れも其程度に多少の差はあれ越前^{えちぜん}の地貨に困感^{こんかん}しつゝあり、
 するに大坂^{おおさか}商船^{しょうせん}及び尼ヶ崎^{にがさき}汽船^{きせん}の如き臨時^{りんじ}の貨物船^{かぶつせん}を運搬^{うんぱん}せしむる事

に幾千^{いくせん}の停船^{ていせん}を見つゝあるやと云ふ
 に十一月廿九日の現況は局線^{きょせん}全
 部の荷問^{かりもん}へ一萬八千二百

百餘^{ひやくじよ}の荷問^{かりもん}を運搬^{うんぱん}せしむる事

せし暇なきに非ず夫等の關係は香港及び各關驛貨物輸送の途を朝鮮鐵道に求め來る爲め鮮鐵としては實に各驛に未嘗有るの出貨を見其の旺盛の出廻り貨物の多量に驚愕とす

下の關以東行き四千六百噸内外又朝鮮内發者一萬一千九百噸を算し居り而して右の外内地行き貨物の釜山に停滯せるもの九州關門行き五百四十噸下り關に於ける一千二百五十

めつゝあり斯る譯合にて各地に充滿
せる堆貨を汽船若くは汽船にて適當
に輸送し、於て其の輸送を鐵道の手に俟つ貨物
の輸送を汽船若くは汽船にて適當に輸送し、於て其の輸送を鐵道の手に俟つ貨物
の輸送を汽船若くは汽船にて適當に輸送し、於て其の輸送を鐵道の手に俟つ貨物

此の空前の滯貨を鐵道局は如何なる
方法により發送しつゝあるか予等常
局は實に最善の手段を講じ其の應急
策を實行すべしとて一貴郡に於て

に倉庫を借入るゝ事となり目
某方面に交渉中なり

●野積保管實行 現今に於

[illegible]

得ざれば其の材料運搬に要する貨車を出來得る限り減少し營業用に充當しつつあり(四)貨物積み卸しの作業を普遍し其節を空しく各縣に留置する

陸送協定成る

昨且港船賃引高題を負ひ各港に對す

に一往復又元線には福満高山間に貨物列車を二往復高山元山間に一往復運送最近に湖内線には大田連山間に補助機車を附し居れり（二）開峯率を以て陸送し得る事となり發貨

の進路を固ます所あるに本報の
鐵道は鐵道院の儲船せる臨時貨物船
の儲船を負擔し運賃の引上げを行
はざる事に交渉したり斯くして現今
の關空間の儲船方は朝夕二回
停滯米穀は今や十五六萬噸に達し
餘多きは一日八千に上る時あり桶
を運ぶに足らず

▲關釜輸送力不足　大體に於て上述の如き方法により當局は有る數限の車々を使用し又舞臺の増設を以て之を補助するが、一日六十噸乃至七百噸の間にありしかば、大體に於ける現在引受車數のみに比し、能く輸送力に及ぶものも七、八十車に餘り居り、現在の全能力の僅かに半に過ぎざるのみである。

ならしめ一日約五千噸乃至六千噸のなるが一方汽船の配給亦甚だしく加を行なひ列事乗務員の活動を旺盛にしてしても四日間分を算するの状

貨の旺盛は鐵道收入に好影響を及ぼし既に本年は收入豫算を超過せる事約三十萬圓に及べり

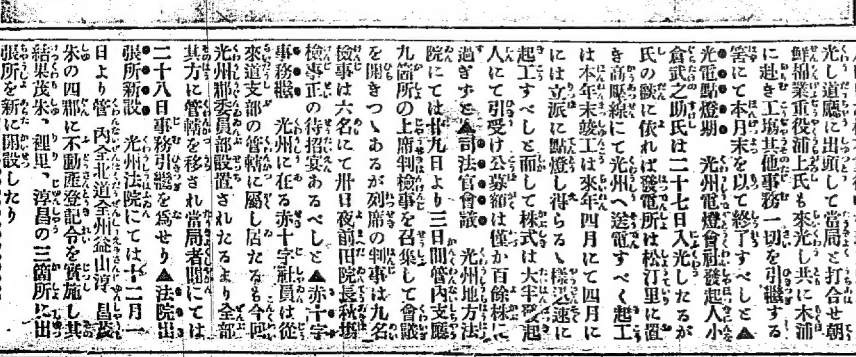
連絡運輸會

全國運輸連絡協會は既報の如く十八日より常任鐵道協會に於てせり當日は出席者百四名にして

八月の船よりなるに過ぎず目下
者には増へたる註文を如何にとす
に就き長文の電報を商船も發
船方々に就き照會する處ありしも
に就き審議し更に三十日鐵道協

群山にては穀類の堆貨夥しく數量
 帝國ホテルに招待したり
 日本駐米参事、成れる北京の士會及び文藝
 月二十六日抵平、林公使、張督軍、芳澤参事、
 森田博士、行合参事、
 林公使、張督軍、芳澤参事、
 森田博士、行合参事、
 月二十六日抵平、林公使、張督軍、芳澤参事、
 森田博士、行合参事、

しに銷はらず本會者千餘名英國にして主客交々起ちて日文有識者思想上の提擧の必要を述べて和親黨の智恵を擧げ三時頃紀念撮影の後散會せり。寫眞前列向つて右より(一)藤澤孝幸宣(二)無痛齋氏(三)深公使(八)田中野郎上り(今片法政館上座なり)(北氣)



人事消息

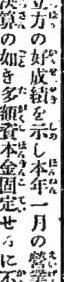
▲向井薩氏 平壤製藥法務檢察長 三十日夜入京 京天汽機へ投函の節

▲堀田遊廣氏 第一相互生命勸業部長 三十日夜行にて釜山へ

光州道廳に出現して當局と打合せ朝
鮮捕鯨業復舊上にも光共し其に本浦
に赴く上場其他事務一切を引繼する
筈にて本月末を以て終了すべしと
▲光電會館 光州電會館社起人小
倉武助氏は二十七日午後九時たるが
氏の臥に依れば警電所は松江里に留
き歸郷にて光州へ送電すべく起工
は本年末竣工は來年四月にて四月に
には立派に點燈し得らるゝ様速に
起工すべしと而して様式は大半洋起
人にて引受會館は僅か六千餘坪
過ぎずと▲司法會館 光州地方法
院にては廿九日より三日間管支廳
九箇所の上層判檢事を召集して會談
を開くつゝあるが死席の判事は九名
檢事は七名にて卅日後開院長松崎
檢事正待招あるべしと▲赤十字
社事務 光州に屬し赤十字社は從
來道廳の管轄に屬し居たりも今此
光州郡吏員部設置されたより全部
其方に管轄を移され當局者間にては
二十八日事務引繼を爲せり▲法院出
張所新設 光州法院にては十二月一
日より管内北道全州益山淳昌義
朱四郡に行動監察を實施し其
結果を來月一週、淳昌の三箇所に出
張所を新に開設したり

刮目可業務刷新温泉經營

を知らざる盛況を呈したるを以て同
四十三年五月朔、野矢、電氣株式會社
(資本金三百萬圓)の設立と同時に釜
山電燈株式會社買收の協定成り、當時
社長として、半田、元、栗、野矢、事務
として佐藤、副社長として佐藤、電氣
道の敷設、電力、電燈、瓦斯、動力
としては、暖爐、蒸氣、煙火等に應ず
る目的の許に優秀なる百二十五馬力の
「ボックフリミヤ、エンジン」を以
て、蒸氣機二臺を連轉し、百八十「キ
ワット」の電力を起し、經濟しきり
去大正四年、釜山電氣界の重鎮とし
て、釜山、高、香、春、源、太、郎、氏、半田、口、社
長に、廻りて、會長となり、以來、社員の潮
汰に、次ぎ、内部の改善を圖り、殆んど
實を、忘れて、根本業務の刷新を圖り



前途一段の光明あり

山の電気會社は朝鮮嶺界の新業者たると同地擴大發展を志す
京城電氣株式會社の支店にして其沿岸一帶の近海港なり内地人の移住に増加し延いて電氣の需要者大に増加し延いて電氣の需要者大に増加し延いて電氣の需要者大に増加し

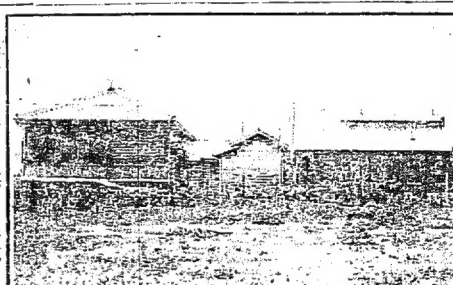
創立は明治四十二年六月九日電燈事業施行を許可せられ同年十月

京電鎮海變壓所



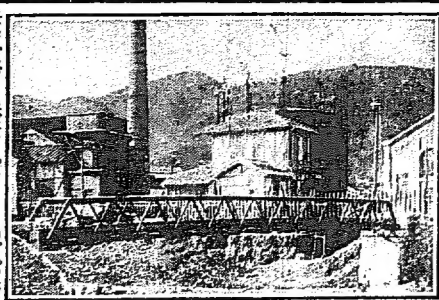
逐年業務發展の盛況

山田電機株式會社の所在地たる靜山に足るものにして發電機は原動機を以て、北は錦江を隨つて忠實に對し來たり調整を以て運轉せる裝置なり月電線路の延長は實に七哩七に達せり



光州に支社創立の計畫

鋭意業務の發展に勉めたる結果僅少の
 なる期間にも不拘客々事革新の意を
 を要するに至り樂業を忽ち一變爲
 劇亦た著しく増加し現在の電燈需要
 戸數八月末調査によれば實に四千七
 十餘あり



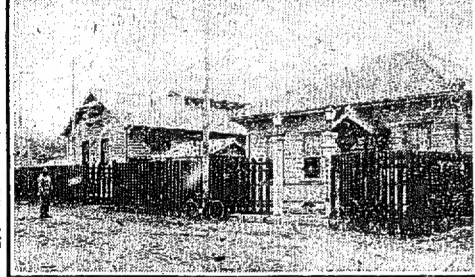
堅實なる其の經營振り

金部は、北太田に次ぐ貨物の集散地。通入
 の要衝に設けられたる太田電氣様
 は、正元特許資料館へ萬歳を賜
 へ。



京城出張所

京城市府南米倉町一
電 番 七 八 九 番



京 城 黃 金 町 二 丁 日
加 藤 商 會 京 城 支 店
電 話 一 四 七 二 番 店 本 尾 張 瀨 戶 町

る事として一種二句以内の事△發表後一週間以内に剽竊發見通告者には五十錢書籍券を呈す(但何書何説を明記に限る)

[illegible]

浪上義三郎速記

A black and white illustration of a man with a shaved head and a cigarette in his mouth, standing over a dead animal. The man is shirtless and wears a loincloth. He is looking down at the animal, which appears to be a dead pig or a similar large animal. The background is dark and textured, suggesting a night scene or a cave. The style is reminiscent of a woodcut or a high-contrast photograph.

[illegible][illegible]

水底を流れて行くものと見えて、繩が
 浮ぶ（即ち）はられるから既に是を仰
 す。この間の彼方に行き、此方に行き
 して居りましたが、陸臺を始め大勢
 の百姓共何うなることかと是を見て
 居ると、其内に水面が眞赤に相成り
 ましたから、百姓共是を見て「○ヤ
 ー！先生、水が大赤くなりました」と
 云つて居る内にグイー／＼繩を引
 くから、ソレ此方へ引けと云ふ知
 せだと右の繩端を手繰りますと、宮
 本二天は水面に浮び上つた其の様子
 を見るに短刀の手を咬むの方に何
 方へ引抱へて右の手で滅きながら此
 方の岸邊へ急りまして、抱へて居つ
 たる怪物をヤツと云つて陸へ打上げ
 たから大勢の百姓が周圍を取巻いて

東京株式特賣

[illegible]

<p>深川在米特賣</p> <p>地味半米</p> <p>十兩 一石</p> <p>二 一四三</p> <p>二 七四四</p>		<p>東京期米特賣</p> <p>め値納付</p> <p>十兩 一石</p> <p>七七八八 月</p> <p>九九〇〇 月</p> <p>九九六六 月</p> <p>九九六六 月</p>		<p>大阪三品特賣</p> <p>め値納付</p> <p>十兩 一石</p> <p>一九九〇 月</p> <p>一九九〇 月</p> <p>一九九〇 月</p> <p>一九九〇 月</p>		<p>大阪期米特賣</p> <p>め値納付</p> <p>十兩 一石</p> <p>一九九〇 月</p> <p>一九九〇 月</p> <p>一九九〇 月</p> <p>一九九〇 月</p>		<p>下關期米特賣</p> <p>め値納付</p> <p>十兩 一石</p> <p>一九九〇 月</p> <p>一九九〇 月</p> <p>一九九〇 月</p> <p>一九九〇 月</p>		<p>雜報</p> <p>銑鐵益々夕陽</p> <p>起るに及ばず米民食の便</p> <p>米は然らず米味は商</p> <p>米は然らず米味は商</p>	
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

皮革類に強硬
 新法に於ては、先づ皮を乾燥し、次に油を塗り、最後に漆を塗る。此の順序は、皮の性質を考慮し、その強度を増すためである。また、皮の表面を磨き、光沢を出すことも重要な工程である。

[illegible][illegible]

米
 前寄十七圓三十
 錢
 昨止より九錢安

仁川期米
 仁川現物市場

南大門の廻穀

仁川期米
 仁川現物市場

南大門の廻穀

仁川期米
 仁川現物市場

仁川期米
 仁川現物市場

南大門の廻穀

仁川期米
 仁川現物市場

[illegible][illegible][illegible][illegible][illegible][illegible]

電話 二六六〇
八人芝居 沼田大倉
浪花館
觀客連主催

演藝案内

有樂館

電話 二六六〇
五人芝居 沼田大倉
浪花館
觀客連主催

電話 二六六〇
八人芝居 沼田大倉
浪花館
觀客連主催

電話 二六六〇
八人芝居 沼田大倉
浪花館
觀客連主催

演藝案内


有樂館

電話 二六六〇
五人芝居 沼田大倉
浪花館
觀客連主催

電話 二六六〇
八人芝居 沼田大倉
浪花館
觀客連主催

御成座
 大相撲
 大正館
 三三七
 黄金館
 御成座
 大相撲
 大正館
 三三七
 黄金館

[illegible]




義手品

せきせいコル
大きん玉ナラズ

京都本町一丁目
西野義手品店

金

飲過食過に妙なり
 華似十銭廿銭卅銭五十銭
 本舖東京大塚町 太田信義製
 ▲全国到る處の藥店に廣



胃腸
良薬

政當之米連呈
大陳堂為米穀取引所仲買人

期 今延商店

電話四六八番九四九番
電話四六八番九四九番
電話四六八番九四九番

贊化病院
醫學博士 醫學士
目丁町本城京
番四二話電

内 小兒
入院
毎日五名
無料診療
古城
上野

下せ物あり

此商標に注意

三大特長
一、高貴藥の配伍
二、輕便作用なし
三、胃中に溶易し

星國がき、國なつ
四、施行性速育

幼國おこり國頭痛
五、V.V.國麻珍

價目
十錢、十五錢、廿五錢
除販賣用入五十錢

本座、東京平會館
支辦は全國各薬店



二六
 作所
 六所
 (早送本見)
 器機
 ット
 年はる誤を擇撰の油醬
 キ品絶の一唯東關へ給み試
 六額年りた冠に國全高造釀
 力買購の大最は高造釀の大最
 優質品は力買購の大最

下總國野田町
茂木七郎右衛門釀造
特約店
明治一丁目
野商
電話二五三番

京 城 日 報

投資機構

銀行をして其事に當らしむるに遇せざるや蓋なく、これが爲めに特設せる銀行も、一定の中心點あり、一定の連絡あり、序次ありて、此に初め其功を全く可し。此根本要義を忘れて、徒爲妄作するときは、其失敗立乃至らざるはなきなり。

常條件の設定を誤まり、支那國會又は關係列國間之非難を受けるに至れるも、主として其事に當るもの、其能力を缺くは是自由。夫れ支那政府に對する政治信賴のごときは、其事實絶日明白なり。而して其の斷斷あり。

資を試みむとす。是れ邊新設銀行をして、銀行獨歩して其功を收めしむる可き事ならんや。吾人の朝鮮滿洲蒙古の銀行組織の、一定の中心に據り、組織的に相依り相輔くものならん。此に理由は明か此に。

□大正の青年と帝國の前途

蘇峯先生の近著を読む(一六)

絡とあり。東洋に活動するものも亦其主動力ありて定れり。矢吉利は放任主義を取ることを云ふも、其東洋經營は香港上海銀行を起點と爲し、露國の亞細亞樞樞政策は内に露滿鐵行の力に是賴る。獨逸の對外經營亦其銀行組織の統一より始むるといふ次第にて、不統一且無秩序なる銀行組織に依りて失敗を招かざるものは、未だ世にこれ有らず。是れ世界大殖民國國に此に個む所以なり。

蘇峰先生は、此番冒険に於て、大正青年の病根を指摘して、危言痛語、頻りに諷刺したるが如きも、先生が此の苦言を忤すは、青年を惜む爲めに非ずして、之を變するの切なるに因る。新時代の新國民が斷斷を誤まりてあるを深憂痛歎し、其の自覺を促し、其の發奮を促さんが爲めに若言を呈したるに外ならずして、讀者の眞意は克く大正青年の了解する所たるべきを信ず可也。

に至りて、始めて露滿點間の實を口々に欲せるのみ。

本書第二章第三章に於ては、明治以前の外患、並に内憂を細叙し、當國が受たる國辱の真相を、遠慮なく釋んて紙上に露呈せしめたり。東洋の君子國上に、長夜の暗帳を食ひ居る我國の時、大穴の洗滌を浴せ掛けて一開國を迫られたる際の我が日本は、武士道は盛衰の極所に達し、外敵に對する一切の準備は怠り、開國を願

滿洲人邦兒童教育

健康は一般に良好也

地新領土勢力範圍に於て事業を起す
其成功を并期すべきなり。
且所關對外經營なるものは、植民
地新領土勢力範圍に於て事業を起す

る事は、歴史上及び現在の事實上争
ふべからざる所の事なり。我朝鮮の
銀行組織を中心として、之を延いて
滿洲銀行の施設に及ぼし、東京の中
央銀行これを一統して、此に初めて
其成功を并期すべきなり。

おける邦人家庭は各該地方のものとの習俗も
異なること頗爾、又は同種と雖も自然の教育に
別々の手加減を受ける事多し其の學成
は大體異にして、一家の數に過ぎず其の成長
は幼穉なるが爲め子供節又は幼稚園に
三年未だ親に増加し其の多くは猶ほ
幼稚なるが爲め子供節又は幼稚園に

△諸種の流行病は滿洲にも
是あり概へば子供病ともいふべきもの
紅熱の如きは滿洲殊に日本人の最も
多く罹する大連においては今年や癩
一種の流行病となし毎年冬季に幾
数の患者を生じ此内死亡せる兒童
少からず本年も葉氣漸く加はると世

育いせられせ小せう學がく校こうに通つう學がくするもの

少なれど内地より滿洲に父母兄
共に來れる兒童の多くが内地に

を有する投資を爲すものに外ならず
して、其土地人物借悉するのみならず、能く其事に當るの智識熟練及び技能を有するものを以て、之を短りたる時よりも概して健康の良好なると同様その満洲生まれの兒童も弱きものは三三四歳にして倒れ強きものは根が弱きものと認むるの外なかなかに左肺結核、腸胃扶助、赤痢、下痢

[illegible]

一月四人平均の家族を見て二千四百
 人の人口を數ふ事が出来る、合せ
 て一萬四千人となり、 equal なるに二百
 萬近い金が難南で仕拂はれる事に
 なり、其の金は何も金庫に死藏しな
 ざり、銀行の預金計りにはなほ、
 素より固定した資本に化し、そこ
 若干の製造工業も起つて来るであら
 う、幸ひに其の燃料は鐵礦から少し
 減る、

羅南一瞥
(三)

西海

成典に歩兵一個聯隊並に工兵大隊
 五十五萬圓、然るに羅南の師團は會衆及
 多分は多少出入りがあるが、先づ二
 内地各師團に於ける一箇年の經費
 附近に法幣とも思はれぬ、少しく同
 氏の所説を茲に受賣りする事にせう
 買ひ込んで置く事などは、土地放
 ならず、多數の人口を包容するやう
 目下の廉い市街像地を
 して空想でない、事實に極差したる
 測だよ……云ふにあつた
 今日、羅南が各方面に於て建設に
 忙しいのは、其の大都會に到達する
 過程であらう、果してさる大都市
 ならず、多數の人口を包容するやう
 目下の廉い市街像地を
 買ひ込んで置く事などは、土地放
 ならず、多數の人口を包容するやう
 目下の廉い市街像地を

鏡城と清津に電力を供給

鮮電氣會社の電力供給

今少しく上と見て宜しい
 所で、今日の羅南には幾十陸軍の
 並で支障されつゝあるかと云ふに
 約四十萬圓の外に過ぎない、それで
 成小限内地人三千人を養ふ事が出来
 る、現に二千以上の内地人が住んで
 のる、乃ち師團が完成すると百八十
 萬圓乃至百四十萬圓以上の金が落ちる事
 となり、従つて其の意味からの増加
 八口が八千人以上に達する譯だ
 市市民は八千人とし、別に六百月の

羅南の市街が下の位膨服しても電
 氣や水道に不足を感ずる事はないだ
 らう
 羅南憲兵分隊では此の市勢の膨服を
 豫期してか、早速總しに市街の一
 部に圍つてゐた持種料理店を今日で
 は、市中と一寸懸け離れ、又た見わ
 ない山の影に移して終つてゐる

日 報 歌 壇

京 城 懷略あづま
 五朔の灯の青光浴びてエプロンのの

は椅子に物編みてあり

ついで草の置のりて移
の事に見返へりもせで

はす處あり之を以て兒童教育の任に止るものは兒童をして此の植民地的教育に染ましめざらんことに種々の努力を試み或學校の生徒は先年の試験を期として兩來女生徒にリボンを用ひたる事と現に之を斷行し居り併し此點は家庭教育と相待たされば其効を奏し難きを以て一方父兄に對し家庭教育の上に極むる注意を盡し居るも不取締りなれば教育者は少からず苦心し居れりて

雨の夜は心おちぬわづらひの名かるなかに歌ひらるあり

日報俳壇

半島俳壇の機關たる本壇は椎子郎君選者を辭せられてより、暫く草集を中止し江湖に背く所多かりしが、這回之を復活し、選者は本社が目地適當する事と爲したり、選拔の標準は形式内容共必し、新しきを追はか又古きを捨てず、依て

活動官賃と讀物に就いては、
 注意を要するものらしく、或學校の如くは兒童の
 注意を引くべきものらしく、少年讀物の少く、つぎ
 少年讀物に對する其の希望の否につき
 なるを調査せしところ、あるが如く（大連局）

能を取る事となしね、大方の御人
 揮つて投句せられよ。

課題
 〓小旅終結二十月吉日、〓大旅結
 〓切四十日、〓冬月終結四十日、〓
 〓南村長、〓結句二十日、〓參集、〓結句五日、〓

（注意）一、應答付一人毎に限、用紙は半
 張、二、應答日、日報編輯部、以、

廣 告

今般業務擴張の爲め從前
の營業所にては狹隘に付
左記へ移轉致候間不相
變御用命の程願上候
京城番大門通一丁目
廿二番地
眼鏡專門
宮川大學堂

日韓書籍房

新報叢書

大正 本 多 漫 澤 男 勇 通 大 家 執 筆 坪 内 著 森 田 著	法華經講義 卷上 定價圓六錢 發行所大塚	村壯小言 定價圓半 發行所西澤	米國研究 定價十五錢 發行所十五錢	戀 定價七十五錢 發行所七十五錢	虛榮の女 定價十圓十錢 發行所十圓十錢
---	-------------------------------	-----------------------	-------------------------	------------------------	---------------------------

東京市二丁目
南朝一五〇番
電話五〇五番
一五番

同	交通運輸法規	同
同	水產法規	同
同	土地野法規	同
(四)	租稅及會計法規	同
(三)	網際地方政法規	同
同	警察衛生法規	同
同	民刑法典	同
(二)	朝鮮銀行官制官規	松雲

著者 定價
七〇〇
一五〇
四五〇
四〇〇
五〇〇
〇〇〇
〇〇〇

電話二九五九番

生 活

價廉物美 諸君光顧 幸勿失之交臂
 〇經濟學原論 上卷 山崎實著 一、〇〇〇
 〇大正の青年と帝國の前途 八〇〇
 〇弱者の爲に 村松道平著 一、三〇〇
 大正六年度日誌 一、〇〇〇
 澤山著 荷仕候
 〇新學堂書店 東京店 〇〇〇〇〇
 〇新學堂書店 〇〇〇〇〇
 〇新學堂書店 〇〇〇〇〇

外服壯美、施工迅速、堅牢無比、工費低廉、高價なる鐵製に勝る
 日本製鐵株式會社
 東京市芝浦區新橋二丁目
 電話二四四〇番
 大阪市東區東船場二丁目
 電話二四四〇番

鐵筋コンクリート煙突
 大分縣佐賀郡久原鐵業株式會社製煉所に於て築造中なる
世界第一の鐵筋コンクリート煙突 高さ地上五百五十呎、底部九十五呎
 目下四百五十呎まで築造進捗し十二月中全部完成す
 特許「Z」型バー式鐵筋コンクリート煙突
 東京市麹町區八重洲町一丁目一號地
 東洋コンフレツソル株式會社
 電話三三二八の六番
 (カタログ進呈)
 特許「Z」型バー式基礎工事
 鐵筋コンクリート用鋼材販賣

英語

新式通信教授

本館附註細則申達第三次進呈

諸君は英語を知れりや
 英語は普く世界の日用語として使用せ
 らる、此時勢に際し英語の習得を缺くこ
 のは成功の人として絶えなり、接遇の爲
 に學習の機會を失ひたる諸君は速に來れ
 今や新學期開講せらる入會の機運也
 ▲諸君一流の大家にして勉に事進す
 ▲學科 初等中等高等の三科、進級自由
 ▲講義 平易明快親切何人も理解容易
 ▲設備 暖水の最新式に則りて完全無缺
 東京市麹町區三見町六丁目
 大日本國民英語學會
 (電話三三三三)

紡績織布企業家各位は弊所へ
 御來談被下度弊所は紡織業に關する企業計畫、設計、目論見書
 の作成より土地の撰定、工場内諸建物の配置、原動防火の諸設
 備、建物設計、作業監督、工事監督に至るまで紡織工業創設或
 は改善に關する技術上の業務一切を誠實に御引受仕候

荒川工業事務所

所主 工學士 荒川喜代次

大阪市北區會場崎新地三丁目
 電話(長北)一三五一番
 電話(長北)一三五二番

追而今般左記の處へ弊所東京出張所を設け候間一層の御眷
 顧を蒙り度希上候
 東京市京橋區築地明石町七番地「電長京橋」二三三六番

大正五年十一月

遺失氏記品報告 要にあり
遺失氏記品報告 要にあり
遺失氏記品報告 要にあり

憶ひ起す 奉天總攻撃の命令一下の利那 躍如たる元帥の風貌

十幾星霜を経たる今日尙眼底を去らず
立花第十九師團長の談

大山元帥の御氣風は、元帥の如き
に、大元帥の御氣風は、元帥の如き
に、大元帥の御氣風は、元帥の如き

大山元帥は第一軍
の軍司令官として、金州方面に
向はれ、第一軍は、金州方面に

九鼎大呂より重き
を爲したるであつた。當時滿洲軍の
總司令官は、久々から千里は

東北の水道は、
凍らない装置
が施してある

壮丁列車の衝突
客車粉砕 死傷七十餘名

密漁犯人捕
成北道、密漁犯人捕、成北道、

水責の大連
市中の公用金は、水責の大連、

春風に 坐するが如し

軍司令部副官 古城大尉談
私は東京で一度大山元帥に

如何なる危急存亡
の秋に際しても、元帥は、如何なる

六臣の墓賣らる
龍山の對岸、墓賣らる、龍山の

合衆佛郎の賊
町屋住山、合衆佛郎の賊、町屋

給水量は益々減少
の外のなるべく、左すれば大連市

七十一歳の泥棒
東京、七十一歳の泥棒、東京、

三頭京馬に
新總督、三頭京馬に、新總督、

給水不足を
見ると、給水不足を、見ると、

賜天賜 覽台賜 覽天賜

生先助之鹿野、生先助之鹿野、生先助之鹿野



牛

乙夜の覽

本書は、著者が多年の逆境に、掉し艱苦勤勉奮闘

給水量は益々減少

の外のなるべく、左すれば大連市

京日案内

告退、京日案内、告退、京日案内

新刊書御案内

新刊書御案内、新刊書御案内

大阪屋敷

大阪屋敷、大阪屋敷

小林躑月作 武内桂舟畫

A black and white illustration of a man and a woman in a room. The man is kneeling on a patterned mat, looking up at the woman who is standing and looking down at him. The room has a window with a grid pattern on the left and a doorway on the right.

「御座いますの。」
お久の辯舌には、意々油が乗つて来た所である。
「叔母さん、讃町の叔母さん、お誂れ申中ですが、少しお待ちになつて下さい。」
問題の解決奈何よりは、幸三郎は餘りに突然な、駈馬に水の桶案に出會つて、精頭腦が驚亂し出したのである。
「はい、待てとお言ひなされるなら、幾千でもお待ち爲ますけれどもこれがまだ形式だけの祝言でも爲た譯ではなし、只幸ちゃんのお祖先代と宿まで、口約束を交はしたばかりの許婚なんですから、此方にだつて然う御迷惑な事はあるまいと存じますからね、おは、は、は、は、」
お久は、故意に無造作に言ひ消し、奥向まで見せて笑ふのであつた問題（行くんです？）
「それに依て、幸三郎は、直覺的に「惜は女郎が藝妓にでも賣るのでは無いのか知ら？」と、思つた。若し、そんな女であれば、苟にも自分の妻と定まつた組代である。母殿の意見は意見として、男たる者の妻に對する道は盡してやらねばならない。瀧臨んで身を投げやうと爲て居る女々を、否、否、自分の妻を見かけて知らぬ顔が出来得るゝものであらうか。結婚は爲すとも、戀はなくとも、親と親の許した生涯の妻を見發しに爲る薄情漢が、それこそ日本にも朝鮮にも支那にも在るものであらうか？幸三郎の頭には、譯もなくむら／＼と抑うした反叛の炎が、火の手を揚げたのであつた。
「叔母さん、お嫁入りでなけりや、

「いや、議論は大有りなんです。僕が承知したと云ふ一言を商から外へ出さんでは、組代さんは、正に僕の許婚の妻ではありませんか。それなのに唯理由もなく、他へ行くから破談にせよと被仰つても、そりや少しく無法と云ふもんではないでせうか」と、幸三郎は、更に手強く言ひ切て、自分の襟の方へ勝を向け直した。おね、阿母さん、僕の言ふ所は道理に反してでせうかね。」

最初から何事をも言はずに、お久と幸三郎との押問答、耳を傾けて京城南大門前二兄館内電話六七

肝門病注射専門醫院

患者の都合に依り出張
來十二月二十五日迄延期す

患者參考
最新式噴霧機治注射
療法普申込込第壹皇

患者は、此の時漸く三寸ばかりも小勝を前に乗出したな。

「幸三郎、お前の言ふ所が道理ですと、言つて誓ひの叔母さんの被仰る

▲第一生命保險相互會社第十四回報告月一、西曆一九四九年九月、日正大元八月三十一日、東京市本區橋本の一其社

▲力の研究會、四七七八、二、十五發東京市本區橋本

▲大倉外國新聞雜誌定價表大正六年度(定価)東京市本區大倉外國新聞部
▲日本新聞社三一九、五發東京市麹町區有樂町の四其社

▲近頃は電車の中、で席を譲ふ事、はあまり流行らなくなつたんだらうか折角読つても其人は知つて居る様な知らない様な顔をして坐りもしないそれとか云つて自分が違反して坐るもの可笑しい頗る間の悪い事が時々ある

▲往來から見やる所に掛けてある商店などの時計で時間の正確なのが少ないがあれは店の用に拘る事だから正確と合せて置きたい衆人に見せる大時計などの時間を誤つて居たり止まつて居るのも不慣れなものだセカンド生

▲大相町の某家の與様何時も乍ら女中の出入が頻

まへに、一體此の破滅のお話は、事情の有無しよりも、肝腎本人の親代さんが、承知の上であるか無いかを確かなる事には、迂闊に御返答を致す譯にはゆきませんね。流石に齡の功である。老母は早くも白濁家の裏面を見抜いたものと思しく、腹向から先づ永久の急所に浴びせた。

新刊紹介

▲最近書物文達成(大町晴南著) 本書の特色とは、さういふ同の文題につき上巻同業及後述と異なる文章で常體語彙數百餘條の文法に指し對する文章が、與事として同一文章の基つて之を分り知らし又書物文達成指針手帳例に準じて其の用法を説明したる如きは、例に類する新工夫と可なり初學者としては從つて教習等類等の用になるべしと心得れば、従つて法に於いては何れも手紙の邊りな指針等と國文の正字表とを共に無難の消納用書時課外に充てる用意周到なるにある。先づ東京市神田區河越鈴木町一五五日市販處通。

▲現代の亞米利加(早稻田大學教授岡田孝太郎著) 加東早稻田大學教授岡田孝太郎著。新條條もあきれてお出でせう。(三本筋) ▲京城は小學校でもすいせん物物が贅澤な様に思はれます。懇心として人並にはしてやり度しつい思はぬ費用掛けますがそれも生活の向上と云へば已むを得ますまい。(ボツト出家) ▲寒くなるそ一番面倒なものは洗濯だがそれかあらねか近々洗濯屋による手間を惜んで苛性鹼を薄山プチ込むものだから買ひ立てのワイシャツでも直き穴が開いて了ふし度しはお客の懐中工合もあるであらう。▲市内の道路は右側通行電車も右側疾走然るに汽車だけは吸眼つて左側を走つて居るシナンバ。

▲東京銀座病院の奇談 東京日本橋本町四丁の銀座本院大學生日原君が本院の婦科病棟の廊下上段の欄干より身を投げたので、病棟の廊下にて三日間泊り有の廣松氏に診察され、翌月一日同病棟にて死す。

being prepared from the best materials by the thoroughly scientific investigation, is absolutely free from all defects will be found in general tonics. It contains two powerful specifics: Quina and Iron, which we may affirm it without exaggerations, are the most efficacious remedies regaining energy to persons of weak constitution, inappetence, poverty of the blood, nervous diseases and general debilities in the organism.

The wine is greatly nourishing to all people, without exception, whose mode of life, both physical and intellectual.

Mitsuya Quina-Iron Wine is very delicious and agreeable to take and, moreover, easy to be absorbed and assimilated.

Price ¥ 1.50.

規那、鐵及葡萄酒は各健胃補血、興奮、強壯等の諸効驗を果するものにして、殊に此の三者を配合して、所謂新鐵葡萄酒とせしむれば、三者を容易に且體共に用ふることを得て、何れも確實に消化・吸收せしむること既に公知の事實に屬す。其の製法不當ならんか將又其の品質不良ならんか之を服用するも實に無効なるのみならず却て不快なる結果を齎らすこと言を俟たざるなり。然るに本品は概米に於ける諸種の製品と異なり學識に就て調査研究を重ね、山梨縣宮崎葡萄酒造所監製した天然葡萄酒を基礎とし、人造着色料を用ひず、純良有効なる規那拉鐵を持殊の操作を以て配合し、周到なる用意の下に精製せるものを故に、容に變化する憂なく、相那、鐵皮葡萄酒の他、慢性の發熱、下痢、貧血、萎黃病、貧血より起る神經性疾患等に神經衰弱、ヒステリー、ヒポコンデリー、產後及病後の衰弱一般の虛弱等に際して適用すべき無比の滋養的飲料たること同時に、精神の困乏並身體の疲勞を回復し、元氣振擡精力増進を欲する場合に推奨すべき絶好の家庭必需品なり。

定價 一樽金壹圓五拾錢

如斯人は滋養強壯料○ミツワ規那鐵葡萄酒を適用すべし▲

一、一般に貧血で居る人	一、食事の進まぬ人	一、下痢の永く頻いて居る人
一、營養の不足たる人	一、勉強又は勞働して疲れた人	一、神經衰弱に罹つて居る人
一、顔色の茶褐色の無い人	一、精神や筋骨の疲勞を速に回復したい人	一、神經衰弱など生じる器神經衰弱に悩んで居る人
一、生まれ來り弱な人	一、精力が減り元氣の無い人	一、ヒステリー俗に謂ふ血の道に凝はれて居る人
一、是と云ふ病は無くては何とも弱く感ぜられ難い人	一、喉病即ち喉症に罹つて居る人	一、ヒポコンデリー俗に謂ふ心氣病に苦んで居る人
一、手足が冷めて寝つかねような弱い人	一、居る核や膿結核其の他結核性の病等にて發熱の永續いて居る人	一、萎黃病など血液の病に侵されて居る人
一、身長の瘦削で居る人		
一、産後や病後の衰弱を早く回復したい人		

健胃補血興奮作用卓絶

香味色佳良滋養力偉大

MITSUWA

鹿那鐵葡萄酒

丸兒堂商店

(現品圖寫國)

芳香醇良なる本邦產天然葡萄酒を基礎とし
完全なる吸收性及同化性を併有せしめたる
三ツ規那鐵葡萄酒

擔任技師 藥學士 河西嘉一

ミツワ石鹼
ミツワ家庭藥
肝油ドロップス
發賣元

代理店

洋酒、食料品、
化粧品、雜貨店

煉乳、賣藥
巨輸出入商

登錄
商號

丸見屋商店

藥劑、滋養品、石鹼、香粧品、小間物問屋

電信略號〇ミヤ……………振替口座東京七一〇番
營業部電話關西浪花三〇四四八・四四九・四五〇番

大阪市東區高麗橋貳丁目

松下善四郎

[illegible]